

CCUSレベル別年収の概要（令和7年12月改定）

- ◎建設キャリアアップシステム（CCUS）の能力評価に応じた賃金の実態を踏まえ、公共工事設計労務単価が賃金として支払われた場合に考えられるレベル別年収を算出。
- ◎レベル別年収の試算の公表を通じて、技能者の経験に応じた処遇と、若い世代がキャリアパスの見通しを持てる産業を目指す。
- ◎目標値と標準値の2つの水準の値を設定し、適正な賃金として目標値以上の支払いを推奨するとともに、標準値を下回る支払い状況の事業者については、請負契約において労務費ダンピングの恐れがないか重点的に確認する。

ブロック別（全分野）（年収）					本資料に示す金額に法的拘束力はなく、支払いを義務付けるものではない。				
	レベル1 （単位：万円） （標準値～目標値）	レベル2 （単位：万円） （標準値～目標値）	レベル3 （単位：万円） （標準値～目標値）	レベル4 （単位：万円） （標準値～目標値）					
全 国	385 ～ 523以上	420 ～ 587以上	444 ～ 645以上	550 ～ 719以上					
北 海 道	356 ～ 483以上	388 ～ 543以上	411 ～ 597以上	508 ～ 665以上					
東 北	412 ～ 559以上	449 ～ 628以上	475 ～ 690以上	588 ～ 769以上					
関 東	412 ～ 559以上	449 ～ 628以上	476 ～ 691以上	588 ～ 769以上					
北 陸	391 ～ 532以上	427 ～ 597以上	452 ～ 657以上	559 ～ 732以上					
中 部	408 ～ 555以上	446 ～ 623以上	472 ～ 685以上	584 ～ 763以上					
近 畿	378 ～ 513以上	413 ～ 577以上	437 ～ 634以上	540 ～ 706以上					
中 国	329 ～ 447以上	359 ～ 502以上	380 ～ 552以上	470 ～ 615以上					
四 国	351 ～ 477以上	383 ～ 535以上	405 ～ 589以上	501 ～ 656以上					
九州・沖縄	365 ～ 496以上	399 ～ 557以上	422 ～ 613以上	522 ～ 683以上					
参考①特殊作業員	404 ～ 544以上	443 ～ 612以上	449 ～ 662以上	569 ～ 744以上					
参考②普通作業員	342 ～ 462以上	375 ～ 519以上	381 ～ 562以上	483 ～ 631以上					

<算出条件> ・CCUSレベル別年収は、公共事業労務費調査（令和6年10月調査）の結果をもとに、CCUSの能力評価分野・レベル別に分析して作成
・労務費調査においてレベル評価されていない標本も経年数と資格を基にレベルを推定（レベル1相当：5年未満、レベル2相当：5年以上10年未満、レベル3相当：10年以上又は一級技能士、レベル4相当：登録基幹技能者）
・労務費調査の各レベルの標本において、「目標値」の値は平均以上、「標準値」の値は下位15%程度の当該ブロックの年収相当として作成

能力評価分野	レベル 1（単位：万円）		レベル 2（単位：万円）		レベル 3（単位：万円）		レベル 4（単位：万円）	
	標準値	目標値	標準値	目標値	標準値	目標値	標準値	目標値
電気工事	363	481以上	426	559以上	473	675以上	584	763以上
橋梁	463	661以上	481	736以上	615	841以上	690	903以上
造園	345	460以上	381	508以上	403	566以上	471	626以上
コンクリート圧送	386	520以上	423	584以上	429	633以上	544	710以上
防水施工	410	585以上	425	651以上	544	744以上	610	798以上
トンネル	526	751以上	547	836以上	699	956以上	784	1025以上
建設塗装	409	571以上	434	636以上	525	727以上	594	781以上
左官	409	573以上	433	637以上	525	723以上	595	782以上
機械土工	387	522以上	424	586以上	430	635以上	545	712以上
海上起重	390	525以上	427	590以上	435	639以上	548	717以上
PC	377	528以上	399	587以上	484	666以上	548	720以上
鉄筋	389	555以上	404	617以上	516	706以上	579	757以上
圧接	389	555以上	404	617以上	516	706以上	579	757以上
型枠	357	510以上	371	567以上	474	648以上	532	696以上
配管	335	444以上	393	516以上	437	624以上	540	705以上
とび	375	536以上	390	597以上	499	682以上	559	732以上
切断穿孔	378	510以上	414	573以上	420	620以上	533	696以上
内装仕上	368	525以上	382	584以上	488	667以上	547	716以上
サッシ・カーテンウォール	381	544以上	395	605以上	506	691以上	567	742以上
エクステリア	375	525以上	396	583以上	481	662以上	545	716以上
建築板金	392	560以上	408	624以上	522	713以上	585	765以上
外壁仕上	396	553以上	420	616以上	509	704以上	575	757以上
ダクト	331	439以上	389	510以上	432	617以上	534	697以上

<注>

- ・ 労務費調査の各レベルの標本において、「目標値」の値は平均以上、「標準値」の値は下位15%程度の当該ブロックの年収相当として作成。
- ・ オレンジ着色部分は標本数が不足しているため年収を算定していないが、他地方ブロックの同分野のレベル別年収が参考となると考えられる。
- ・ CCUSの能力評価基準が未策定の職種の場合やCCUSの能力評価基準が策定済みの職種であっても対応する公共工事設計労務単価の職種が存在しない場合は年収を算定していないが、「特殊作業員」「普通作業員」の年収を参考値として示している。